

2012(仏暦2555)6月号 (第77号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行

浄土真宗本願寺派
万行寺 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾461-1

電話 0267-67-2460



■住職法話

にんじん う がた いますで う
人身受け難し、今日に受く

■仏事のイロハ

子が生まれたらお寺へ参拝しよう

■本願寺の本

しよさんしき
初参式記念「いのちのであい」

■お知らせ、編集後記

Photo

ご近所の庭にもバラが咲いていて良い
香りを漂ただよわせています。バラ園も有名な
所があります。子供を連れてバラ園など
を散歩でもと思っているところです。

住職 法話

人身受け難し、今已に受く



次頁の「仏事のイロハ」の内容、そして娘の初参式しよさんしきの報告と、偶然にも話題が重なりました。「仏事のイロハ」は、本の順番通りに毎号進めていきますので、本当に不思議なものです。それにならしまして、「本願寺の本」も関係する本を紹介しました。

ところで、昨年十二月に誕生した娘は六ヶ月になり、日々の目まぐるしい成長に驚かされているところです。障害も無く五体満足に元気に生まれてきてくれたことに感謝申し上げるばかりです。

はありますが、私たち夫婦にとりましては不妊治療を経験し結婚十年目にしてやっと授かった、特別な意味を持つていました。なかなか自然には授けられず、治療をしても原因がわからず、流産も経験し、そのうち妻は高齢というリスクを背負い、治療をやめて夫婦だけの人生を考えてみたり、または離婚までも考えてみたりと、夫婦や互いの人生のあり方まで考えるような日々ばかり過ぎていました。

正直、ここだけの話ですが、子授けの祈願をしているところへも行きました。それほど、この度の子の誕生は私たち夫婦にとりまして百八十度、変

えた出来事になりました。

治療の最中、妻の勧めで、『うまれる』というドキュメンタリー映画を映画館で二人で観ました。「両親の不仲、虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦」「完治しない障害を持つ子を育てる夫婦」「出産予定日に我が子を失った夫婦」「子を望んだものの授けられない人生を受け入れた夫婦」という四組の夫婦が登場し、人が生まれること、いのちのこと、夫婦や家族のこと、人と人との繋がりなどを様々な体験を通してあらためて考えさせられる映画でした。特に、あまり表に出ない男性の役割ということにも触れてい

るので、夫婦で観るのがお勧めです。

特に女性の晩婚化が進む中で、不妊に悩む夫婦も増えています。治療に行っても多いことに気づかされます。子が無事に授かり私たちが望んだ結果を素直に喜ぶ中で、複雑な思いもあります。

お釈迦さまの有名なお言葉が思い浮かびます。

人身受け難し、今已に受く
人が生まれるとは何かを問
い、生まれたことに感謝し、
生かされている我が身に気づ
かされるお言葉です。「おが
けさまで有り難うございま
す」と感謝の言葉が自然と出
てきます。南無阿弥陀仏

仏事のイロハ

子が生まれましたらお寺へ参拝しよう

赤ちゃんの誕生

は、両親や家族にとつて何ものにも代えがたい慶びの一つでしょう。人としてこの世に生を受けることは極めて得難いことであり、不思議としか言いようがありません。

このかけがえのない「いのち」がすくすくと育ってくれるように、また人間に生まれた慶びをかみしめつつ人生を力強く歩んでくれるようにと、親なら誰もが願うところです。

そうした我が子の人生の出発に当たって、けっして崩れることのない依り所となり、支えとなつて下さる如来さまに参拝する式を「初参式」と

言います。

初参式は、子にとつての人生の始まりの仏縁ですが、同時に親にとつても、親として生きる出発点であり、子によつて与えられた尊い仏縁です。

世間では、子が生まれて一ヶ月ほど経つと「お宮参り」といつて、神社へお参りする人が多いようですが、残念ながらお寺へお参りする人は限られているのが現状です。日ごろ「私は門徒です」と言っている方でも、なかなかお寺に参つてきて下さいませぬ。これはどうしたことでしょうか。「死に関わる悲しみ事がお寺で、お祝い事はお宮さん」という意識が、人びとの心の奥深くまで浸透している現実を改めて驚かされます。結局、ご門徒一人ひとりが闍法に励

み、如来さまの深いお慈悲の心に触れることよつて自らの人生に目覚めていただく以外にはないのでしよう。

ともあれ「死」が大きな仏縁となるのと同様に、「生」もまた尊い大きな仏縁となるのです。どうか初参式を人生にとつての大切な儀式だと思

得ていただきますように。なお、初参式は満一歳ぐら

を行う日取りが決まっている

お寺もあります。詳しくはお手次ぎのお寺にお尋ね下さい。

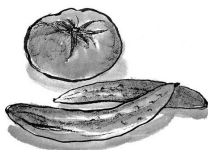
ポイント

●初参式は、人生出発に当たり如来さまにごあいさつする式。

●門徒なら「お宮参り」ではなく、初参式にお参りを。

●参拝するお寺へ連絡すること。

「仏事のイロハ」末本弘然著 本願寺出版社刊より



～本願寺の本～

しよさんしき

初参式記念「いのちのであい」

本願寺出版社 刊 定価525円(税込)

しよさんしき しおり かいてい
初参式の葉を改訂し、一層身近に親しめる
内容に。「初参式についての消息」のほか、
しよさんしき しよさんしき しよさんしき しよさんしき
詩や永田萌氏の美しいイラストなど、新しい
いのちの誕生を喜び、祝う場にふさわしい
構成。アルバム台紙1枚・プレゼント用封筒
付。(本願寺出版社HP紹介文より) 是非、出産祝いの贈り物にご利用下さい。



西本願寺へ娘の誕生を奉告してまいりました

この6月3日(日)に、坊守(妻)と共^{ぼうもり}に6ヶ月にな
る娘を連れて、本山・西本願寺の初参式奉告参拝^{しよさんしきほうこく}
をしてまいりました。

「讃仏偈^{さんぶつげ}」のお勤めとご法話の後、両堂^{りやうどう}(阿弥^{あみ}
陀堂^{だどう}と御影堂^{ごえいどう})にてお焼香をさせていただきました。
人生にとって大変貴重な仏縁をいただき、親
として感慨深く、あらためて仏の
子をしっかりと育てていかなく
てはという身の引きしめる思い
を感じました。皆様のおかげと感
謝するのみでございます。



編集後記

「住職法話」の中の、映画
『うまれる』は上映会とい
う形で開かれる時のみの限
られた上映となっていま
す。私たちは、たまたま上
田市の映画館に来るとい
う情報を得て観ることが出来
ました。◆インターネット
では、「うまれる」と検索
するとホームページがあり
ます。上映会の情報など興
味のある方はご覧下さい。
◆西本願寺によりますと、
初参式は十歳未満のお子様
までが対象だそうです。万
行寺でも初参式を行うこと
が出来ますのでお問い合わせ
下さい。

